

ギャラリーさやかの紹介



山口市平井にある、さやか工房です。「共に歩み、共に生きる」という法人の理念のもとに、障害をもつ人の人生を支援したいと考えています。

共に生きていく仲間を大切に、支え合って生きることができるようになってほしい、それが私たちの願いです。

利用者が仕事を通じて自己表現ができるように必要な支援を行い、

仕事をする喜びを実感してほしいと思っています。

ねじの袋詰め、ダイレクトメールの発送、チラシ折り、

ポスティングなどに取り組んでいます。



自社製品では、染め・織りに取り組み、施設内にギャラリーを開設しています。
さやか工房のオリジナル製品を展示、販売しています。

藍、柿渋、茜など自然の染料を使って、趣きのある色合いをだしています。障
害のある利用者の方々の織った布をバックなどに仕立てた、個性的な作品を皆様
に見ていただけたら、と思います。ギャラリーにおいて販売もしております。



作品介绍 平成29年春



藍色のトートバックは、織りとデニムを組み合わせたものです。
緯糸にラメと藍染め糸を寄り合わせにした糸をつけています。
桜色のバッグは、段染め糸を使っています。



羊の原毛をフェルト化させてつくったにわとり、ひよこの親子です。

おさるさん、羊さんも仲良く、一緒に

作品介绍 平成30年春



藍色のトートバッグ（写真左）は、ラメ糸と藍染綿糸をより合わせにした糸で織りました。さやか工房の利用者が織ったものをバッグに仕立てました。

裂き織りのバッグ（写真右）も利用者の織りを使いました。着物を裂いたものを横糸にし、しっかりと織っており、味わいのある織地になりました。



今年の干支の犬をフェルトで作りました。犬を作りはじめたら、お散歩中のワンちゃんが今まで以上に目に入るようになりました。卵型にまとめたフェルトを基本形として、いろいろな種類の犬を作っています。

作品介绍 令和元年度

今年はシンプルな藍色のバッグに、刺繍のブローチをつけてみました。ブローチはある作家さんの作品です。藍はそのものも美しい色ですが、他のものを引き立てる色であると思います。染色家の志村ふくみさんは、無地の美しさというものについてそのエッセイで語っておられます。藍という色の美しさをもっと表現していきたいと思っています。

藍のバッグの隣は柿渋のバッグです。

違う素材を柿渋で染めたものをキルトにしました。



フェルトの干支は、ウリ坊、ネズミをつくりました。

羊からフェルトの干支を作っています。

毎年買ってきてくださる方もいて、十二支全部揃えたいと言ってくださいます。

頑張って作りたと思います。

麻布に干し柿のパッチワークをしたものにウリ坊を置いてみました。

ネズミは藍染の裂き織りに合わせました。利用者の方が作った折り紙の箱にもネズミをいれてみました。なかなか楽しい作業です。

